

伊方町議会第69回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
末光 勝幸 議員	1 第8期介護保険事業計画の進捗状況について	町 長
質問の要旨		
<p>これまで新型コロナ禍の対応で、町長はじめ職員の方々も多忙を極められたのではと拝察致します。コロナ対策はもとより、伊方町民にとって最も優先されるべき政策は福祉であると考えます。現在、町内の介護施設に入所待機者が103人、町外の介護施設には97人の町民の方が入所されています。</p>		
<p>日本人の平均寿命は2020年で、女性が87.74歳、男性が81.64歳となっています。伊方町の人口は今年の4月末で8,581人に減っていますが、その内の半分近くが65歳以上の高齢者であります。集落ごとに見ますと、8割、9割近くが高齢者という集落も増えてきています。75歳過ぎると、4.5人に1人が要介護という実態で、人生100年時代ともいわれますが、健康で老後を過ごすことは難しいこともあり、公的支援やサービスは急務であります。</p>		
<p>(1) 「団塊の世代」が後期高齢者となる令和7年度（要介護認定者929人見込）及び「団塊ジュニア」が後期高齢者になる令和22年度（要介護認定者646人見込）を見据えて、町では第8期介護保険事業計画を立案し、令和5年度には旧伊方地域に認知症対策型共同生活介護施設の新設を計画されています。その後、計画の見直しもありましたが、現在の進捗状況をお伺いします。</p> <p>(2) 高齢者にとって「通いの場」づくり、ボランティア活動などに熱心な市町村はフレイル（虚弱）状態の高齢者が少ないという調査報告もありますが、介護予防事業の取り組みについてもお伺いします。</p> <p>(3) 最後に、今後の福祉のあり方として「横断的で総合的な福祉」の基本計画を掲げています。障がい者に対する福祉の充実も主要施策として計画されていますが、川永田地区にその施設の建設の見通しが立ったと、聞き及んでいます。その概要についてもお伺い致します。</p>		